

つながる手と手

～はなかわからの

メッセージ～



第38号



もくじ

- 【自助具コンテスト 2023】で当院作業療法士が 最優秀賞を受賞しました
- リハビリステップ児童デイサービス準備が着々と進んでいます
- 新入職員紹介
- 花川病院ボランティア元気に活動中！！
- 「ケアカフェ」に参加しました
- ACP「人生会議」もしもの時を考えていますか
- 花川南睦美町内会「ふる里夏まつり」に参加しました
- 栄養科だよりお届けしています
- 花川病院「夏祭り」開催



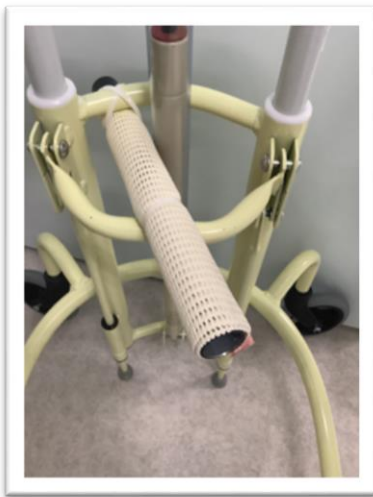
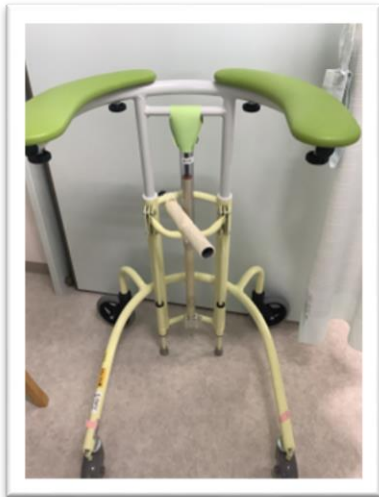


【自助具コンテスト 2023】で当院作業療法士が最優秀賞を受賞しました

今回、北海道作業療法士会による初めての試みとして開催された『自助具コンテスト 2023』において、応募総数 23 作品の中からリハビリテーション部合田 OT の作品が最優秀賞に選ばれました。

○作品の紹介 《トレウオークスリム ストッパーハンドル》

室内用歩行車を利用する際に、安全かつ楽にストッパー操作ができる自助具です！



自助具とは？

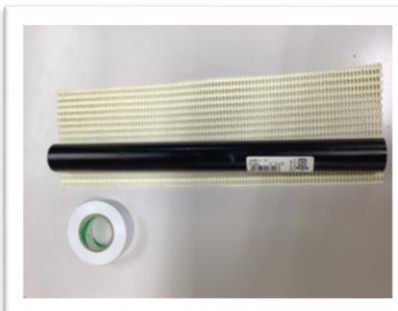
自立した生活を送るために日常の動作を少しでもやりやすく、またできないことを可能な限り自分でできるように工夫した道具のことです。

○使用材料

- ・Φ28イレクターパイプ 3000mm
- ・滑り止めシート30cm×20cm程度
- ・結束バンド20cm ・ビニールテープ ・はさみ

○作り方

滑り止めシートでパイプを保護 → 歩行車に結束バンドで固定 → 結束バンドの先端部をカットし完成！



当院入院 A さん
「軽いですね」

今後も患者様へ親身な対応を大切にし、福祉用具に関する知識と技術を適切に扱える専門性の高いセラピストを目指し、部内での活動を展開して参りたいと思います。

(OT かねこ)



リハビリステップ児童デイサービス準備が着々と進んでいます

近年、発達に悩みを抱えている児童や不登校児が急増し、リハビリを受けたくても受けられない小児リハビリ希望者が増加しています。当法人では「回復期 180 床を有するリハビリ専門病院」を運営する強みを活かし、**理学療法士・作業療法士・言語聴覚士**を中心とした児童向けデイサービス（児童発達支援・放課後等デイサービス）を開設する運びとなりました。



開所にあたり、昨年 9 月から約 1 年間かけて準備を進めてきました。現在は開所後の運営を想定した業務研修も毎週実施しています。

詳細は、公式 LINE、ホームページをご覧ください。



公式 LINE

ID : 708 uyzmx



ホームページ



(PT まえだ)

新入職員紹介



初めまして、2024 年 7 月より 3 階回復期リハビリテーション病棟担当 MSW として入職いたしました宇部瑞生（うべみずき）と申します。大学卒業後から 12 年間 MSW として勤務しておりましたが、出産を機にしばらく育児に専念しておりました。

子どもの成長はあっという間で、一人でできることも多くなり、私が働きにできることを一番喜んでくれ、背中を押してくれたのが娘でした。また社会に出て働く機会を頂けたことに感謝し、少しでも患者様ご家族が安心して医療を受けられるよう、サポートさせて頂きたいと考えております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

(MSW うべ)



2024年8月より4階回復期リハビリテーション病棟担当 MSW として入職いたしました木村甫之（きむらとしゆき）と申します。前職は小樽市の急性期病院で約7年、医療ソーシャルワーカーとして勤務しておりました。大きい声で言えるほど何か実績を残してきたわけではありませんが、活かすことができる経験を最大限活かし、新たに知識と経験を積んでいき1秒でも早く貢献できるよう尽力いたします。趣味はたくさんあるのですが、最近はお笑いと旅行が好きです。気になることはとりあえずやってみようの精神なのでなにかおすすめの趣味があればぜひ教えてください。これからどうぞよろしく願いいたします。



(MSW きむら)

花川病院ボランティア元気に活動中！！

花川病院ではボランティアの方々に活動して頂いています。毎週水曜日に病棟にて開催されています「はなカフェ」「おやつの日」では3名のボランティアの方がコーヒーなどの飲み物とパンやおやつを提供していただいています。はなカフェのパンは地元のパン屋さんで、花川南にあります「フルールドウペーシユ」さんのパンを提供しています。患者様からは入院生活ではなかなか食べられないパン屋さんのパンということで大変好評頂き、あんドーナツ、メロンパンはいつも最高！美味しいとのうれしい声を頂いています。



「フルールドウペーシユ」
石狩市花川南7条1丁目1-31
☎0133-72-9161

また第1、第3金曜日13:30~15:30は「装飾づくり」を行っています。活動内容は主に5階の渡り廊下に展示する季節ごとの作品を制作しており、患者様には大変好評で展示している作品をみて



「素敵ね」とお声をかけて頂くことも多いです。今月は秋に向けて柿やフクロウなどを制作中です。他にはお誕生日の



患者様にプレゼントする記念品も制作しています。現在「装飾づくり」ではボランティアを募集しています。興味のある方はぜひ地域連携相談センター（直通 0133-76-2727）までご連絡お待ちしております！！

（地域連携相談センター さの）

「ケアカフェ」に参加しました

7月18日(木)に『ケアカフェ特別企画～石狩の医療、介護、福祉の人と繋がりたい～』に参加しました。

「ケアカフェ」は、【いしかり医療と福祉のまちづくりひろば】という、石狩市内の医療・介護・福祉の現場で働く専門職が有志で集まり、運営をしている団体が運営母体となってい



ます。コロナの前までは、①「ケアカフェ班」②「研修班」③「フェスタ班」の3つの班に分かれ活動していました。私が所属する「ケアカフェ班」は、相談職だけでなく、現場で働く介護職員にも興味を持ってもらえるよう、「リハビリ職員に聞いてみたいこと」、「認知症」、「看取り」、「パーキンソン病」等をテーマに、市内で働く医師、

看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、当事者等を講師にお招きし、基礎的な知識と具体的な事例を交えることで、はじめて参加される方々も気軽にグループワークや情報交換できる場になるよう心掛けてきました。しかし、コロナの流行により3年間は、対面での「研修」や「ケアカフェ」が中止を余儀なくされ、その間診療報酬・介護報酬の改定や職員の退職・入職などの変化があった事業所も多く見受けられました。そこで今回、市内の病院、老健、訪問看護・リハビリの事業所に声かけをし、地域の医療・介護・福祉の関係者

に向けて、新たに各機関のPRや質疑応答、名刺交換を行うこととしました。コロナの流行中は、電話やリモート中心の退院支援となっていたため、地域の関係者の皆さんと久しぶりの再会、新たなメンバーの紹介、普段聞けない質問や具体的



な事例の相談等もでき、とても有意義な時間となりました。当院では、MSWに加えて、看護師、作業療法士を中心にリハビリ職も積極的に地域活動に参加しています。これからも地域の関係者の皆さんと定期的に顔を合わせ、お互いに安心して相談できる関係の構築を心掛けていきたいと思っています。

（地域連携相談センター とみい）



ACP「人生会議」もしもの時を考えていますか

2024年度診療報酬改定で、すべての病院において、意思決定支援をしなければならないとなりました。例えば急性期病院においても高齢の入院患者が増加していて「人生の最終段階において、どのような医療・ケアを受けたいか、受けたくないのか」を患者自身がどう考えているか明確にし、その考えに基づいた医療・ケアを提供することが重要となりました。「自分は無理な延命処置をしてほしくない」と望んでいても、その希望を医療者が把握していなければ、懸命な蘇生処置など行なわれます。これは患者様、医療者等にも不幸なことです。ACP「人生会議」を普及し、「自分はどのような医療を受けたいのか、受けたくないのか」を明確にしておくことが重視されました。当院は回復期リハビリテーション病院です。リハビリテーションをして元気になり住み慣れた場所、地域へ退院することが目的で、ACP「人生会議」に取り組んでいませんでした。今回の診療報酬改定を踏まえ、入院中からACP「人生会議」の普及に取り組みたいですと考える。

ACP「人生会議」とは、アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning) といい、もしもの時のために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医

療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。例えば食事がとれなくなったら経鼻経管栄養、胃瘻をするか、呼吸が悪化したら人工呼吸器を装着するか等人生の最終段階における医療・ケアを考え家族等に伝えることです。もしもあなたがそのような状況になった時、家族等信頼できる人があなたの気持ちを医療者に伝えることができます。厚生労働省は11月30日を「人生会議の日」としています。元気なうちからACPについて考えあなたの大切な家族、信頼できる方に伝える、あるいは文書に残しておきましょう。

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？

もしもの時のために
「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～
11月30日(火)「人生会議の日」

誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることが、できなくなると言われています。

自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。

もしもの時のために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を「人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プランニング)」と呼びます。あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

このような取組は、個人の主体的な行いによって考え、進めるものです。知りたくない、考えたくない方への十分な配慮が必要です。

話し合いの進めかた (例)

あなたが大切にしていることは何ですか？

あなたが信頼できる人は誰ですか？

信頼できる人や医療・ケアチームと話し合いましたか？

話し合いの結果を大切な人たちに伝えて共有しましたか？

心身の状態に応じて意思は変化することがあるため、何層でも繰り返し考え話し合いたしましょう。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html



花川睦美町内会「ふる里夏まつり」に参加しました



をしました。焼きそばの他にはビールに焼き鳥、フランクフルト、枝豆、かき氷などお祭りメニューも盛りだくさん。盆踊り等も開催され子供から大人



まで楽しんでいました。私たちは地域の方との交流もでき、

地域の取り組みに参加させて頂きとても楽しい1日となりました。次の日は男性職員3名で後片付けに参加。看板の撤去ややぐらの解体等力仕事を

しました。地域の皆様のために尽力されている町

内会実行委員会の皆様に感謝しつつ、これからも

微力ながら参加させて頂き地域に貢献していきたいと思ひます。

当院が所属している花川南睦美町内会の「ふる里夏まつり」に8月3日（土）参加しました。当日は女性職員2名で午前から食材の準備をお手伝い、午後からお祭りが始まり「焼きそば」コーナー担当で焼きあがる熱々の焼きそばをパック詰めしたり販売のお手伝い



(MSW げんつう)

「栄養科だより」お届けしています

栄養だより

2024年6月発行 栄養科

食品に含まれている栄養素の中で炭水化物・脂質・たんぱく質・ビタミン・ミネラルの5種類は「五人栄養素」と呼ばれており、これらには大きく3つの働きがあります。

<p style="text-align: center; font-weight: bold;">炭水化物(糖質)</p> <p>ご飯・パン・麺・芋類・砂糖など</p>		<p style="text-align: center; font-weight: bold;">エネルギーのもとになる</p> <p>体や脳を動かすエネルギーとなる。糖質は脂質に比べ消化吸収が早く、簡単にエネルギーを放出する。たんぱく質は糖質や脂質が不足している場合のエネルギー源となる。</p>
<p style="text-align: center; font-weight: bold;">脂質</p> <p>植物油・バターなど</p>		<p style="text-align: center; font-weight: bold;">体をつくる</p> <p>筋肉や内臓、骨、歯、皮膚、髪の毛、血液など体を構成するあらゆる成分の材料となる。また、体の機能を調整するホルモンや酵素の成分にもなる。</p>
<p style="text-align: center; font-weight: bold;">たんぱく質</p> <p>肉・魚・卵・乳製品・豆製品など</p>		<p style="text-align: center; font-weight: bold;">体の調子を整える</p> <p>糖質・脂質・たんぱく質の働きを助け、体の機能を正常に保つ。皮膚や骨を丈夫にしたり、筋肉の収縮や神経の伝達、体内の水分量など、体の色々な機能を調整する。</p>
<p style="text-align: center; font-weight: bold;">ビタミン</p> <p>野菜・果物・芋類・肉・魚など</p>		
<p style="text-align: center; font-weight: bold;">ミネラル</p> <p>海藻・乳製品など</p>		

栄養素はそれぞれ異なる働きをもっているため色々な栄養素を摂取することが大切です。さまざまな食品を食べることが栄養バランスを整えるためのポイントです。

栄養科では年4回を目標に患者様もスタッフもリハビリの合間に見られるように病棟の掲示板に「栄養科だより」を届けています。ちょっとした栄養の情報で食事・栄養に興味を持って頂けると幸いです。当院



ロビー、外来前に設置していますのでご来院の際は是非お手に取ってご覧ください。



(栄養科 あきた)



花川病院「夏祭り」開催

8月23日（金）花川病院「夏祭り」を病院の隣、花川南コミュニティセンターにて開催しました。患者様が到着されると入口にて職員から当院オリジナル「うちわ」と「タオルハンカチ」のプレゼント。会場ではかき氷とコーヒーゼリーが振舞われました。



ステージでは当院職員バンド「はなウタリ」の演奏に始まり、おみこし、盆踊りと水戸黄門や桃太郎等さまざまな衣装をした職員が仮装グッズを身に身につけ患者様と一緒に盆踊りに参加し大変盛り上がりました。リハビリスタッフによるバトントワリング、よさこいの演舞と躍動感あふれる見ごたえのあるひとときとなりました。

当日はとても蒸し暑く雨の予報でしたがみんなの熱気が雨を吹き飛ばしたようで雨は降らずに終わることができました。そしてとても楽しそうな患者様から職員も元気をもらえる・・・そんな1日でした。9月は敬老の日に毎年行っています



「感謝祭」の開催に向け職員一丸

となり準備を進めています。今後も患者様のリハビリの励みになるような催しを開催していきたいと思ひます。

（地域連携相談センター さの）



編集後記

蒸し暑い夏もそろそろ終わりを告げ、朝晩過ごしやすい今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？さて当院では8月に夏祭りを、9月には敬老の日に行事を開催する等、感染対策を徹底し患者様に季節を楽しんで頂けますよう取り組んでおります。引き続き感染対策を徹底しながら、患者様、ご家族の皆様のかげがえのないひと時を大切にご安心して過ごして頂けますよう努めて参ります。

（MSW かねこ）